

つるかめ通信

4月号

2024.4.10発行

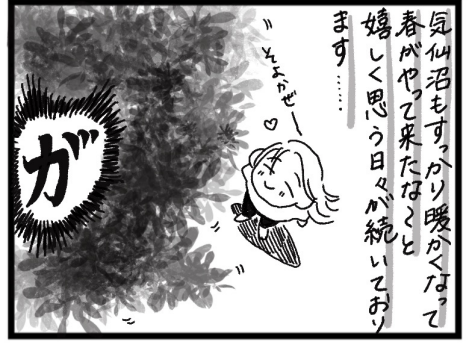


毎日操業お疲れさまです！やっとな春到来の気仙沼です。春と言えば潮干狩り！子供の頃母の実家がある浜で【あさりかき】をした楽しい記憶があります。最近無性に潮の匂いや風を感じたくあさりかきをしたいなと思っているのですが、沿岸線が全部防潮堤になってしまい浜辺はテトラポットに占有され、あさがりが生息する砂浜はなくなってしまう。あさをかき、砂抜き、酒蒸しや味噌汁に入れて食べる。食育にもつながる海辺の町こそいい食文化だったのに残念です。伝えていかないと腐れてしまう(涙)

あさに限らず代々言い伝えられてきた気仙沼の食文化をひとつでも多く残さなくてはと思っています。その中には沖(漁船)発祥の食文化もあると思います。それこそ気仙沼ならではの自慢の宝ですよ。(のりこ)



花粉はつらいよの巻



操業お疲れ様です！桜の開花とともに今年も新学期が始まる季節となりましたね。「こうつうあんぜん」と書いてある黄色いカバーをつけた大きなランドセルを背負った新小学1年生が元気に登下校する姿が微笑ましいですよ。お客様の中にも新1年生の女の子がいてランドセルの色を聞いてみたところ「紫」と言っていました。私の姉妹は全員「赤」だったのでしみり時代を感じましたね(笑)

最近の私の悩みはHPVワクチンを打つか打たないかという問題です。私の周りでコロナワクチンを打ったことが原因で亡くなった友達がいる、それをきっかけにコロナやインフルエンザのワクチンを打つことにとっても抵抗するようになりました。HPVワクチンにも同じように抵抗があるのですが、メディアでは大きく打ちましようという広告を沢山見かけます。ワクチンの必要性や自分のためになるのはどちらなんだろうと考えていて、ふと漁師さんはワクチンを打っているのかという疑問も浮かんできて色々「うーん」と考え中です(笑) 皆さんはワクチンを打つ派ですか、打たない派ですか?? (あんり)



春の訪れとともに花粉もやってきて、暖くなった喜びと花粉症の辛さに困惑しています(笑)でもやっぱり春は冬眠から目覚めたクマのような気分で嬉しいな～！さて先日、日本財団ボランティアセンターの企画で、10人の大学生が唐桑に来てくれました。学生たちは「唐桑御殿つなかん」に宿泊しながら、浜仕事のお手伝いをしたり、小学生の放課後プログラムを盛り上げてくれたり、まちづくりのイベントに参加したり、と充実した5日間を過ごしてです。最終日には鶴亀食堂にも来てくれて、よくばり定食を「うまい、うまい」ともりもり食べて帰っていきました！今回学生たちと過ごす中で「若いな～元気だな～体力あるな～」と思う場面が多く、わたしも着実に歳を重ねているんだなと実感しました。大先輩のみなさんに比べればまだまだひよっこですが(^^)これからだんだん暖かくなってほしいな夏がやってくるので、体力つけてがんばるぞー！(みどり)



まいにちの操業おつかれさまです！今日も元気に過ごしています、えまです～！ついに気仙沼に帰ってきました！気仙沼も昼間はすっかりあたたかくなって、ポカポカ～！桜も満開に近くなりました！わーい！気仙沼のお花見スポットはやっぱり大川沿いなんですか？市民会館も夜にライトアップしてるようで、すてきですよ～。わたしは唐桑の漁火パークも好きだし、つなかんツリーハウスのところの桜も好き！なにより、車を走らせてるとよくみる、唐桑のおうちの庭先に桜の木があるおうち、めっちゃめっちゃ憧れます。毎日お花見できる～！週末のたびに桜の木の下で昼からビール飲みたい！なんで桜はこんなにうれしい気持ちになるんでしょうか～。梅でも椿でもなく、どうして桜なのか。日本人はどうしてこんなに桜が好きなのでしょう。連日ニュースでも桜の開花情報とか、花見を楽しむに人たちのインタビューが出てたりして。ふしき～！でも、桜が咲くと気持ちもなんだか浮き足立って、うきうきしちゃうんです！(えま)



歓迎プロデュースの独断と偏見により選ばれた「まちの話題」など

・みんなの揚げパン「紅梅」が連日大行列！
みなさんもご存知、気仙沼の揚げあんパンといえば「紅梅」が、先日「帰れマンデー」に取り上げられ、サンドウィッチマン、俳優の間宮祥太郎、楽天イーグルスの銀次が「世界イチの揚げパン」を食べたことで話題に！全国放送だったこともあってか、放送後は連日大行列で警備員を雇ったほどだそう！よく船に大量に積んでいくみなさんは流行を先取りしてましたね～！

・唐桑半島「ビジターセンター」がリニューアルオープン！
唐桑半島の先端にある「ビジターセンター」が4月20日にリニューアルオープン！唐桑の伝統芸能や屋号などの展示もあるそうで、今からたのしみです…！

・市の大人気企画「お試し移住」が今年度も！
気仙沼市では移住を考えている人対象に宿泊費の補助を出す「お試し移住制度」を3年前からやっています。3日間～最大2ヶ月間、市内の宿やホテル、さらには公営住宅に「お試し」で暮らすことができ、気仙沼で暮らすイメージをつけることができます。今まで100名を超える方が利用し、うち13名が移住したそうです！！船のみなさんも移住希望さえあれば、帰港時に使えるかも？興味あればぜひ～！